

平成18年度地域活性化活動助成の選考結果

(財)北海道開発協会 会長 小林 好宏

当協会では、21世紀の北海道開発を推進する、地域自らの発想による地域づくりを支援するため、平成18年度の地域活性化活動助成の対象となる活動を、平成17年12月1日から18年4月30日までの間、道内の非営利の団体を対象として公募しました。

これに対し、本年は道内各団体から55件の応募をいただきました。応募された活動の内容は、地域おこし、まちづくりを中心に観光、農業、商品開発、教育関連など多岐にわたっており、さまざまな活動に地域の人々が精力的に取り組まれていることがわかりました。

これらの活動内容について、厳正な審査を行った結果、去る6月7日、下記の8件を選考しました。

当協会では今後とも本地域活性化活動助成を続けていく予定です。平成19年度については、本年11月1日にホームページに募集要領を、「開発こうほう」11、12月号に募集広告を掲載する予定です。皆様方のご応募を期待しています。

平成18年度地域活性化活動助成団体及び活動内容

団体名	活動内容の概要
NPO法人北海道・花ネットワーク 理事長 上田 陽三	花のコンシェルジュ養成事業 北海道の「花観光」の振興、「花」をとおした地域活性化を目的に、札幌近郊の花の名所を巡るバスツアー等において、「花」の情報、地域の観光情報を案内できる人材（ガイド）を養成し、地域の特徴を生かした顧客サービス、「花」のおもてなしを充実させ、継続的な「花観光」の振興に貢献する。
NPO法人北海道ふるさと帰帰支援センター 理事長 小檜山 博	移住希望者の受入のための地域コーディネーター養成事業 2 地域居住促進をベースにした北海道への居住者を増加させる活動として、地域の生活者目線で、生きた情報の発信と迎入れ体制を住民レベルで構築するための役割をになう「地域コーディネーター」の養成を行う。
NPO法人えべつ協働ねっとわーく 代表 白鳥 健志	地域まちづくりキーマン連携・協働事業 市民コミュニティの基本をなす地域町内会（自治会）と、環境や福祉などの社会的な目的を有して活動するNPO等市民活動団体が連携・協働して地域の催しなどに取り組む体験を試行し、地域コミュニティの活性化と連携・協働を基にした新たな地域まちづくり手法の検討を行い、町内会活動の活性化と地域まちづくりの関係を広く市民に啓発するとともに、行政に対して新たな施策を提言する。

<p>食のトライアングル（農・商・消）研究会 会 長 飯沼 巖</p>	<p>第1回北のご当地カレーの祭典「C-1グランプリin富良野」 カレーを通して地域おこし、ブランド化を目指す団体・グループとの連携・交流、スケールメリットを生かし、道内各地の食材を生かした「カレー王国北海道」を盛り上げることを目的とし、道内の食材等を生かした地元で愛されるご当地カレーを富良野に集結するイベントを開催する。</p>
<p>社ふらの観光協会 会 長 黒岩 岳雄</p>	<p>ふらの外国人旅行者一人歩きサポート事業 外国人観光客の増大に対応して、個人旅行者の長期滞在に耐えうる観光地基盤整備が必要なことから、外国人向けの総合的な観光受け入れセンターを開設し、交通アクセスや施設の国際化の改善と併せて、情報発信、イベントの再構築、ホスピタリティの向上に向け「ふらのの外国人観光客一人歩きサポート事業」を実施する。</p>
<p>NPO法人室蘭地域再生工場 理 事 長 藤 当 満</p>	<p>持続可能な環境調和型タウンデザイン・ワークショップ 9つの地区が広域に分散している室蘭市を対象とし、NPOが中心となり地域住民・大学（教員と学生）・地方自治体職員が4週間に渡る合宿を行い、フィールド調査、グループワーク、模型設計、市民を交えたフォーラムの開催などを実施して、クリーンネックレス型コンパクトシティを提案するとともに、市民啓発活動を行う。</p>
<p>オホーツク圏観光連盟 会 長 桑 島 繁行</p>	<p>世界自然遺産「知床」観光利用情報提供事業 知床五湖をはじめとした知床地域の観光利用状況を地域の共有情報として各観光案内所等で提供することにより、観光客を知床周辺の各観光ポイントで滞留させ、知床への一極集中の緩和、分散化を図る。</p>
<p>NPO法人ふれあいインさろま 理 事 長 藪 香寿枝</p>	<p>佐呂間地域在住外国人への日本語支援活動 在住外人、主に花嫁など佐呂間地域に定住している外国人を対象に、日本語教室を通して地域住民との交流や日本の文化や習慣を身につけ、地域にとけこみ、自立した生活ができるように支援活動を行う。また、地域住民にとっても、異文化との相互交流は新たな価値を地域にもたらし、開かれた地域づくりにつながっていくものとなる。</p>